

はじめに

このガイドの使用法

このガイドでは、Cisco Unified IP Conference Station 7937G で使用可能な機能の概要を説明します。すべてを読めば、会議ステーションについてさらに理解を深めることができます。また、一般によく使用される機能についてのみ知りたい場合には、次の表に示す該当する項を参照してください。

| 対象とする操作 | 参照先 |
|---------------------------|--|
| 安全上の情報を確認する | P.3 の「安全および使用に関する情報」を参照してください。 |
| 会議ステーションに接続する | P.5 の「会議ステーションの接続」を参照してください。 |
| 会議ステーションのインストール後に、それを使用する | 最初に、P.9 の「会議ステーションの概要」を参照してください。 |
| 会議ステーションのボタンメニューについて学習する | P.10 の「ボタンおよびハードウェアについて」を参照してください。 |
| ディスプレイ画面について学習する | P.14 の「ディスプレイ画面の機能について」を参照してください。 |
| コールを発信する | P.17 の「コールの発信：基本的なオプション」を参照してください。 |
| コールを保留にする | P.21 の「保留と復帰の使用法」を参照してください。 |
| コールをミュート（消音）する | P.21 の「ミュートの使用法」を参照してください。 |
| コールを転送する | P.23 の「コールの転送」を参照してください。 |
| 会議コールを開始する | P.25 の「会議コールの開始」を参照してください。 |
| 短縮ダイヤルを設定する | P.28 の「短縮ダイヤル」を参照してください。 |
| 電話番号を共有する | P.32 の「共有回線の使用法」を参照してください。 |
| 呼出音の音量またはタイプを変更する | P.36 の「呼出音とメッセージインジケータのカスタマイズ」を参照してください。 |
| ボイスメッセージインジケータを変更する | P.36 の「呼出音とメッセージインジケータのカスタマイズ」を参照してください。 |
| 不在履歴を表示する | P.38 の「通話履歴の使用法」を参照してください。 |
| ボイスメッセージを再生する | P.44 の「ボイスメッセージへのアクセス」を参照してください。 |
| ソフトキーおよびアイコンの定義を確認する | このガイドの表紙の次にあるクイックリファレンスカードを参照してください。 |

その他の情報

WWW 上の次の URL から、会議ステーションの最新資料を入手することができます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

安全および使用に関する情報

電源停止の影響および会議ステーションの他のデバイスに関する情報については、次の項を参照してください。

電源停止

電話による緊急サービスへのアクセシビリティは、電話機に電力が供給されているかどうかによって異なります。電源に障害が生じている場合は、電力が復旧するまで、サービスダイヤルおよび緊急コールサービスダイヤルは機能しません。電力の障害または切断の発生時には、サービスダイヤルまたは緊急コールサービスダイヤルを使用する前に、デバイスをリセットまたは設定し直す必要がある場合があります。

外部デバイスの使用方法

次の情報は、会議ステーションで外部デバイスを使用する場合に当てはまります。

シスコは、不要な無線周波数 (RF) および聴覚周波数 (AF) 信号を遮蔽する高品質の外部デバイス（ヘッドセットなど）の使用をお勧めしています。

これらのデバイスの品質と、携帯電話や双方向無線など他のデバイスとの距離によっては、音声周波数の雑音がなくなることがあります。この場合は、次のアクションのいずれかまたは複数をとることを推奨します。

- 外部デバイスを RF 信号または AF 信号の発生源から遠ざける。
- 外部デバイスのケーブルを RF 信号または AF 信号の発生源から遠ざけるようにルーティングする。
- 外部デバイスに遮蔽ケーブルを使用するか、より効果が高い遮蔽とコネクタ付きのケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルの長さを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトなどの素子を付加する。

シスコは外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質をコントロールできないため、システムのパフォーマンスを保証できません。適切なデバイスを高品質のケーブルとコネクタで接続した場合に、適切なシステムパフォーマンスが得られます。



注意

EU 加盟国では、EMC 指令 [89/336/EC] に完全準拠している外部スピーカおよびマイクロフォンだけを使用してください。

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

シスコの暗号化製品に適用される米国の法律の概要については、次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/wwl/export/crypto/tool/stqrg.html> 何かご不明な点があれば、export@cisco.com まで電子メールを送信してください。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストは、申し込みにより入手可能です。